



平成 20 年 12 月 19 日

会社名 宇部興産株式会社
代表者名 代表取締役社長 田村 浩章
(コード番号 4208 東証第 1 部・福証)
問合せ先 IR 広報部長 坂本 靖子
(TEL 03-5419-6110)

欧州における抗血小板剤「プラスグレル」の承認勧告について

宇部興産株式会社（社長：田村浩章、以下「宇部興産」）と第一三共株式会社（社長：庄田隆、コード番号：4568、以下「第一三共」）との共同研究開発により創製し、第一三共とイーライリリー・アンド・カンパニー（社長：John C. Lechleiter、本社：米国・インディアナ州、NYSE：LLY、以下「リリー」）がグローバルな共同開発を進めている経口抗血小板剤「プラスグレル」について、第一三共とリリーは、本日「欧州医薬品庁（EMA：European Medicines Evaluation Agency）のヒト用医薬品に関する委員会（CHMP：Committee for Medicinal Products for Human Use）が、経皮的冠動脈形成術（PCI：percutaneous coronary intervention）を受けている急性冠症候群（ACS：acute coronary syndrome）患者の治療薬として、プラスグレルの承認を推薦する、好意的な見解を示した」と発表しました。

CHMP の好意的な見解は、欧州連合で承認を行っている欧州委員会（EC）への最終的な承認勧告とみなされます。欧州委員会は、通常、CHMP の承認勧告から 2～3 ヶ月以内に薬品の承認を決定します。承認されれば、この新しい経口抗血小板剤は、宇部興産が原体を製造・供給し、『Efient™』（エフィエント）という商品名で欧州連合全域で販売されます。

プラスグレルは、動脈硬化に伴う心臓発作、脳卒中を引き起こす可能性のある血小板の凝集を防ぐ医薬品で、まずは PCI を受けている ACS 患者への新しい治療薬として開発を進め、2007 年 12 月に米国食品医薬品庁（FDA）へ新薬承認申請が、翌 2008 年 2 月に EMA へ販売承認申請が、それぞれ行われています。

宇部興産は、現中期経営計画「ステージアップ 2009」において医薬品事業を将来の成長及び収益性ポテンシャルが見込める育成事業と位置づけており、「社会に貢献する有用な新規自社医薬品を創製する」ことを目指し、研究開発を進めています。

2000 年には田辺製薬株式会社（現：田辺三菱製薬株式会社）と共同開発した抗アレルギー薬『タリオン®』が、2003 年には三共株式会社（現：第一三共株式会社）と共同研究開発した血圧降下薬『カルブロック®』が、それぞれ日本国内で上市されており、プラスグレルはこの 2 剤に続くものとして欧州での早期承認を期待しています。

以上

- ・ 『Efient™』は、イーライリリー・アンド・カンパニーの商標です。
- ・ 『タリオン®』は、田辺三菱製薬株式会社の登録商標です。
- ・ 『カルブロック®』は、第一三共株式会社の登録商標です。